



発行：豊町東町会 編集：事務局広報部
 お問い合わせ 豊町ふるさと会館 Tel & Fax 04-7169-1101

今号のご案内

- 異例の第23回定期総会
- 新しい仲間をご紹介
- 「イエイ」(YEY) 発足
- 水戸街道物語

未曾有の危機にも負けない地域！

会長 佐野治人



令和元年度は過去最大級の台風にも2度も見舞われ、新型コロナウイルスで世界中が悲鳴を上げるなど大波に弄ばれる1年でした。私たちの町会はこれくらいの試練ではめげません。

令和2年度はまず地域の青少年対策として子ども会を発展させ、小中高生を対象とする「Yutaka East Youth Club」通称「イエイ」(YEY)を立ち上げ、事務局の青少年部がバックアップして、子供たちの活動を支えます。また、防災のエキスパートと連携をとりながら、中身の濃い防災事業を進めてまいります。

自分たちの町は自分たちで守り、自分たちで造り上げて行きましょう。

令和元年度 町会収支報告 (単位：千円)

収入		支出	
前期繰越	840		
町会費	5,343	一般支出	2,093
柏市助成金	2,879	助成金等	2,994
雑収入等	726	イベント等	3,786
		特別支出	329
		次期繰越	586
合計	9,788	合計	9,788

異例の書面による承認

～ 感染防止措置下で第23回定期総会 ～



町会の第23回定期総会は、新型コロナウイルスに対する厳しい感染防止措置が取られる中、例年通りの開催が難しくなり、書面による承認という異例の形式

で行われました。

総会の議案は、令和元年度の収支決算、活動報告、令和2年度の予算案、事業活動方針案、役員承認の件など。

4月11日から議決権を持つ令和元年度、2年度の班長以上の役員ら217人全員に議案書を配布し、承認の可否を問いました。同月18日に回答をまとめた結果、投票総数186、賛成184、反対1、白票1の賛成多数で承認され「未曾有の危機にも負けない地域」を目指して、町会活動がスタートしました。

任期満了に伴う役員改選が行われ、下記の役員が決まりました。副会長(会計)の磯部検四郎さんは退任、顧問に。1区長高橋正栄さん、2区長黒澤聡明さんは退任、いずれも監査に就任します。

令和2、3年度 町会役員

会長	佐野 治人	
副会長(総務・防災)	遠山 幹夫	
副会長(文化部・防犯)	三井 祥三	
副会長(青少年部)	松崎 力	
副会長(会計)	平林 毅	新任
監査	高橋 正栄	新任
監査	黒澤 聡明	新任
1区区長	小出 宝	新任
2区区長	林 卓也	新任
3区区長	三井 祥三	副会長兼務
4区区長	沼田 広孝	新任

豊町東町会 自主防災組織 (単位：千円)

収入		支出	
前期繰越	825		
防災費	1,023	防災用備品等	71
		防災訓練等	178
		消防団助成金	680
		次期繰越	919
合計	1,848	合計	1,848



「よろしくお願ひします…」 町会の新しい仲間を紹介

役員改選の年で新しいメンバーも登場。以下で紹介する町会の役員は、いずれも現役の社会人。仕事をこなしながら地域活動に参加しています。

副会長（会計） 平林毅さん

成年部で約10年間活動。成年部では会計も担当し、町会の実働部隊のひとり。50代の副会長は“若手”であり、若いリーダーシップに期待。



1区区長 小出宝さん

前区長から請われ、思い切って引き受けたとか。「地域の仕事ははじめて。みなさんの協力をあおいでやっていきたい」。



2区区長 林卓也さん

「町会の役員などの経験はなく、はじめての仕事。不慣れなのでよろしくお願ひします」と。新しい発想を期待しています。



4区区長 沼田広孝さん

この町に住んで15年。4区副区長をつとめました。「地域活動がしっかりしている町なので、より発展するよう微力をつくしたい」。



消防団分団長 桑山敬道さん

「サラリーマンをしながら団員として10年。消防小屋も完成し、30代の新しい分団員も入ってくれたので、気分を新たにがんばりたい」。



総務部長 手塚善久さん

平成29年～30年、2区区長をつとめており、その経験を活かしてくれそう。「事務局というチームが団結して、活動がスムーズに行えるよう努めたい」。



● 民生委員に関本さん

厚生労働大臣の委嘱を受けて、高齢者福祉のサポートをする民生委員。1人欠員でしたが、令和元年12月1日付で関本利雄さんが就任しました。1区を担当します。「声かけ訪問もままならない状態が続いていますが、いまは研修などを受けて勉強中です。よろしくお願ひします」。



長い間ご苦勞様でした

磯部副会長（4区長兼任）が退任

仕事と両立させて町会活動に参加したのは平成20年ごろ。27年からは町会に専念し、副会長と4区区長を兼務。町内の防犯灯のLED化など環境整備に尽力してくれました。



町会活動を振り返り「地域を知り、地域のたくさんの人と知り合えた。夏まつりの模擬店では区のみなさんと焼きとりづくりに汗を流したなど、楽しい思い出もたくさんあります。町会のますますの発展を祈っています。今後は顧問として地域を見守ってもらいます」。

コロナに負けるな！

～ 柏市の電話相談口 ～

高熱・強いだるさ・息苦しきの症状がでたら

柏市新型コロナウイルス 感染症相談センター

TEL：04-7167-6777

FAX：04-7167-1732

（土・日・祝日を除く、9:00～17:00）

感染相談の判断の目安がかわりました。高熱、息苦しきなど感染したと思われる症状がでたり、重症リスクのある人、妊婦はすぐ相談してください。

新型コロナウイルスについての

一般的な相談は

柏市コールセンター

TEL：04-7128-2239

FAX：04-7167-1732

（土・日・祝日を含む、24時間）

感染を防ぐ方法、市内の感染状況、市の対策などの疑問や質問に対応します。緊急事態宣言の発令を受けて、人数を増やし24時間受け付けています。

定額給付金についての質問は

柏市特別定額給付金コールセンター

TEL：04-7168-9677

（日・祝日を除く、9:00～17:00）

国民1人当たり10万円の支給が決まった給付金についての相談窓口。請求の仕方やマイナンバーカードでの請求などの相談にあたります。

地域の青少年の組織

「Yutaka East Youth Club」 “YEY” 発足 ユタカ イースト ユース クラブ イエイ



● 子供会を発展させて新設

豊町東町会には、豊小学校児童を対象とした子供会がありましたが、人数が年々減るなど諸般の事情によりいったん休止し、新しく「Yutaka East Youth Club」を発足させます。略して「YEY」（イエイ）。小学生、中学生、高校生を対象としたクラブで、地域の子供たちの活動を町会がバックアップしていきます。多くの方の参加をお待ちしています。

● 町会の行事を中心に、子供会の行事も継承

クラブ活動としては町会やふるさと協議会が行う夏まつり、餅つき大会、ゴミゼロ運動とバーベキュー大会、体育祭、ニュースポーツの集いなどへの参加。防災訓練、防災教室、防災研修への参加。これまで子供会が行ってきた映画観賞会、クリスマス会などのイベントも継承。さらにはクラブ員が提案するイベントも積極的に取り上げてゆきます。

● 東町会を中心に、地域の小・中・高生を対象に

従来の子供会とちがい、小学校を卒業して中学校、高校へ進んでも引き続き地域の活動が続けられるし、また通う学校が異なっても、同じ地域の若い世代の仲間として交流を長く続けられることがクラブの特色です。

● 運営は町会青少年部

クラブの運営は町会事務局の青少年部が担当。イベントの企画、実施作業、引率などはすべて町会が責任を持って行います。年会費は1,200円。

● 保護者のみなさんへ

青少年部が運営するので、保護者の方に役員を要請することはありません。イベントの際ボランティアとしてお手伝いをお願いすることはあります。

参加するイベントなど



夏まつり

8月に行われる夏まつり。模擬店のお手伝いなどボランティア体験が人気。



ゴミゼロ運動とBBQ大会

5月末。町内を清掃したあと、低見台公園でバーベキュー。

餅つき大会

新春恒例の行事。餅つきもできる。はしご乗りの実演もあります。



卒業生を送る会

2月末、豊小学校で。子供会が続けてきたイベントです。



体育祭

秋のふるさと協議会のイベント。子供が出場する種目も多数。



ニュースポーツの集い

小学生から高齢者まで、3世代がやさしいスポーツで交流。

募集中! 会員を募集しています

豊町東町会事務局へメールもしくは、お電話ください。

豊町東町会事務局

メール : yutaka.east@gmail.com

TEL : 04-7169-1101 (火・木・土曜日 9:30~12:00)

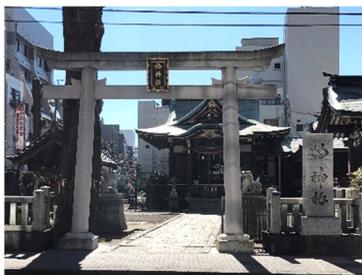


会員登録



●柏村は寒村だった

わが町を通る旧水戸街道は、神明神社の前で富里に入り、さらに進むと柏神社の前あたりに「柏木戸」があって、牧の中を通る道はここまで。人口40万人を超える大都市をなつた柏ですが、その原形ともいえる柏村は、江戸から明治にかけては、農家がまばらに点在するだけの寒村でした。



●呼塚の常夜灯を保存

市街を通る旧道は商店街となっていますが、国道16号を斜めに横切って、常磐線の線路で道が中断されるあたりは、わずかに旧道の趣を残しています。呼塚(よばづか)のあたりに、慶応2年(1866)に建てられたという大きな常夜灯がありました。かつては手賀沼がこの辺りまで広がっていて、呼塚河岸もあったといひます。常夜灯は近くの慈恵医大病院へ向かう田んぼの一角に移され、保存されています。



●文人が住んだ手賀沼周辺

北柏駅を過ぎるとまもなく我孫子市に。利根川と手賀沼にはさまれた田園地帯です。常磐線と並行する旧道は、ビルなどが建つ商店街ですが、寿



地区まで進むと道路の左側に旧脇本陣で名主もつとめた小熊家があります。江戸時代に建てられたというかやぶき屋根の家が、街道の面影を残しています。

我孫子市の手賀沼周辺には、大正時代白樺派の作家志賀直哉、武者小路実篤、陶芸家のバーナード・リーチ、評論家の杉村楚人冠ら多くの文人、芸術家が住んだことは有名。

●重厚な構えの住居が並ぶ

老舗の料理屋鈴木屋を左に見てしばらく歩くと道はY字形に分かれます。草むらにある古い道標の文字は読みにくいのですが、右は布施街道、木下(きおろし)を通って成田への道。左の旧道をたどり、常磐線のガードをくぐると柴崎地区。左手に柴崎神社があり、その先の道沿いには、土塀に囲まれ、門のある、いかにも旧家といった家が点在しています。柴崎の中心部だったのでしょか。



●利根川を越えれば取手宿



旧道はまもなく国道6号と合流し、やがて利根川にかかる大利根橋へ。「坂東太郎」の異名を持つ利根川は、長さは信濃川に譲りますが、流域面積は日本一。大利根橋の長さ1,208メートル、同川にかかる最も長い橋です。広い河川敷を利用したゴルフ場を見おろしながら30分ほどかけて橋を渡ると、茨城県に入り、取手の宿です。(つづく)

※街道探検の詳細は、町会のホームページをご覧ください。

街道探検隊の旅、水戸に到着

1年2ヵ月、千住から約100キロを歩く

江戸と水戸城下を結ぶ旧水戸街道を歩いて探索する旅は、2月11日、水戸市の「陸前浜街道(旧水戸街道)



起点」に到着、直線距離で約100キロを走破しました。

平成30年10月に旧日光街道から分岐して旧水戸街道が始まる千住をスタート。ほぼ月に1回、距離10~15キロを歩き、旧道にかかわる歴史に触れながらの旅。松戸、小金、我孫子、取手、土浦、石岡など30近い宿場跡をたどりました。

2月11日は、長岡宿(茨城県茨城町)を出発し、約4時間歩いて水戸市に入り、吉田神社、吉田山薬王院などを訪ねて、水戸城下で「下市(しもいち)」といわれた、商人町にある旧道起点の道標に到達しました。